発行日：2026年（令和8年）10月26日（月）

社会福祉法人　芳春会

# カノン通信

No.80号

令和8年10月号

年間目標
『毎日元気に働きましょう』
来月の月間スローガン
『返事をしましょう』

10月に入り、朝夕はすっかり涼しくなり、秋の深まりを感じる季節となりました。
日中は過ごしやすく、爽やかな秋風が心地よい頃ですね。
季節の変わり目ですので、体調には十分お気をつけて、実りある秋をお過ごしください。

## 秋




十月三日(土)　今年も秋祭りが開催されました。今年は、昨年よりもたくさんの方にご来場いただき、千名近くの方が足を運んで下さいました。
焼きそば、フライドポテトをはじめとする模擬店は、おかげさまで完売御礼！
ステージイベントではＡＫＵｔａＲｅ：団の方と芳春会メンバーとの歌とダンスで共演させていただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました♬今年もたくさんの方々にご協力いただき、無事に、素敵な秋祭りを開催することが出来た事を大変嬉しく思います。ありがとうございました。

## 授産品販売









十月七日(水)市役所にて授産品販売で新米とさつま芋、雑貨などを販売しました。販売のお手伝いとして井畑さんと古川さんが頑張ってくれていました。ご来場、ご購入していただいた家族様ありがとうございました！




今月のお誕生日
★村田さん★山田さん
★辻野さん★中川さん★富岡さん
おめでとうございます！
素敵な1年になりますように。







## 今月の給食メニュー



10月8日（木）
・ご飯
・魚の煮付
・牛すじコロッケ
・胡麻和え
・味噌汁



10月14日（水）
・ご飯
・鶏のさっぱり煮
・春雨マヨサラダ
・おかか和え
・デザート

研修名：令和8年和歌山県知的障害者福祉協会　権利擁護・虐待防止研修
日時：令和8年9月30日（水）
受講者：三瀬有美・林麻衣
　和歌山県知的障害者福祉協会主催の「権利擁護・虐待防止研修」に参加しました。
研修では、障害者虐待防止法や身体拘束の適正化、虐待防止体制の整備と運営について学びました。また、北摂杉の子会の取り組みを通して、利用者一人ひとりの権利を守り、安心して生活できる環境を整えることの大切さについて理解を深めました。
日々の支援の中では、職員にとっては良かれと思って行っていることでも、利用者本人の気持ちや意思を十分に確認できていない場合があります。そのため、支援する側の考えだけで判断するのではなく、利用者一人ひとりの思いや気持ちを大切にし、その人に合った支援を考えていくことが重要だと改めて感じました。
今回の研修を通して、利用者の権利や尊厳を守ることは、日々の何気ない関わりの中にもあることを再認識しました。これからも職員同士で学び合い、支援を振り返りながら、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して自分らしく過ごしていただける支援を目指していきたいと思います。

研修名：第14回全国生産活動・就労支援部会職員研修会
日時：令和8年9月29日（火）
　　令和8年9月30日（水）
受講者：露峰祐希、秦野洋光
　「利用者の成長と地域社会での活躍を支える～就労支援事業所の役割とは～」をテーマに大阪で開催された全国生産活動・就労支援部会に参加しました。全国から様々な事業所が参加し、各々の事業所での取り組みの意見交換やそれぞれの事業所で生産している商品の販売などを通し、福祉の可能性を感じる2日間となりました。
　1日目の青葉仁会理事長、榊原氏の基調講演では、地域の過疎化問題や荒れ地問題を福祉の力で活性化させた実例を話していただき、地域とのつながりの重要性を改めて感じました。また2日目の分科会では「魅力ある商品をつくり、魅力ある市場に流通させる」をテーマに、生産活動で作る商品をどのように価値のあるものへと発展させていくかを考え、単にものを作るだけでなく、商品にストーリーや付加価値を持たせ、ブランドとして確立し、市場で評価されるために必要な視点を学びました。
　今回いろいろな事業所の取り組みの様子や困難だったことの乗り越え方などを聞き、皆利用者の皆さんが生き生きと過ごせるようにと考えていることに力をもらいました。就労継続支援B型としてカノンでできることは何かを再度支援員間で考えていきたいと思います。